## 大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2025年度)

専門分野区	分	ゲームデザイン	乔	4目名		ゲーム制作物	寺論	7	4目コード	D0347A1
配当期		通年	授	業実施形態		通常	1		単位数	8 単位
担当教員	名	坂部 和実	履	修グループ		4C(SD/	SL)		授業方法	演習
実務経験(内容	D	クリエイターとしてゲーム会社で10年間のアーケード・コンシューマーゲームの開発経験と、フリーランスとして10年間のコンシューマーゲーム・ソーシャルゲーム・書籍・マンガ等のデザイン等を担当した経験を活かし、作品制作に関しての知識・考え方や、制作物の構成・アピールについて実践的に講義する。								
学習一般目	標	各専門分野への就職活動において必要な作品、もしくは一般就職を目指す学生に関しても各々が4年間学んできた分野での集大成としての作品を制作する。設定したテーマに対し、ものづくりを行う意義や目的を追求する。それらの作品制作にあたり、自ら思考し、実践・表現を行うことで意欲的に取り組む姿勢を学びぶ。最終的に作品を完成させ、制作物に対する自分の考えをプレゼンテーションという形で発表することを目指す。								
授業の概要 および学習 の助言		各自の得意分野に関するテーマを設定。1年間を通してどのような制作を進めていくのかのスケジューリングを立て、成果や進捗報告として企画・中間・最終発表時にプレゼンテーション行う。 各個人が自主的に調査・研究し、制作していくことを前提とします。								
教科書およ 参 考 書		随時レジュメ配布								
履修に必要 予備知識 <sup>3</sup> 技能		目標を達成する為にどういった表現・スキルが必要なのかといった情報を調べておく。興味・関心をもって積極的にリサー チすること。								
使用機器										
使用ソフト										
		学部DP(番号表記)				学生が到達	すべき行動目	標		
		1	需要に対応する為の作品を企画し、情報収集から制作に取り組むことができる。							
		2	テーマ・コンセプトに沿った作品を制作し、理論的に説明することができる。							
学習到達目標			意欲をもって取り組むことができる。							
学習到達目	標	3	意欲をも	って取り組む	ことができる	0				
学習到達目	標	3				。 作品を口頭で	説明すること	ができる。		
学習到達目	標		4 各自か	、設定したテー	ーマに沿った化				舌用することが	ができる。
学習到達目	標	4	4 各自か	、設定したテー	ーマに沿った化	作品を口頭で			舌用することが	ができる。 合計
学習到達目	標	5	4 各自かインター	、設定したテー ネット等を活り	ーマに沿った作用し、作品等の	作品を口頭での情報を積極の	的に収集し、	作品制作に		
		5 評価方法	4 各自かインター	、設定したテー ネット等を活り	ーマに沿った作用し、作品等の	作品を口頭での情報を積極の	的に収集し、作品	作品制作に		合計
	学 部 D	4 5 評価方法 1.知識·理解	4 各自かインター	、設定したテー ネット等を活り	ーマに沿った作用し、作品等の	作品を口頭で の情報を積極 成果発表 (口頭・実技)	的に収集し、作品	作品制作に		승計 20
学習 達成度評価達成度評価	学部	4 5 評価方法 1.知識·理解 2.思考·判断	4 各自かインター	、設定したテー ネット等を活り	ーマに沿った作用し、作品等の	作品を口頭で の情報を積極 成果発表 (口頭・実技)	的に収集し、作品	作品制作に	その他	合計 20 20
	学 部 D	4 5 評価方法 1.知識·理解 2.思考·判断 3.態度	4 各自かインター	、設定したテー ネット等を活り	ーマに沿った作用し、作品等の	作品を口頭で の情報を積極 成果発表 (口頭・実技)	的に収集し、 作品 20	作品制作に	その他	合計 20 20 10
	学部DP	4 5 評価方法 1.知識·理解 2.思考·判断 3.態度 4.技能·表現	4 各自かインター	、設定したテー ネット等を活り	ーマに沿った作用し、作品等の	作品を口頭で の情報を積極 成果発表 (口頭・実技)	作品 20 40	作品制作に	その他	合計 20 20 10 40

評価の実施方法と注意点

評価方法

試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	企画発表、中間発表(前期最終授業)、最終発表を行う。
作品	企業に向けた作品や、積極的且つ自主的に制作された完成度で判断。
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、取り組み、態度などを含め総合的に判断する。

## 授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習•復習)
第1回	授業概要についての説明。作品の内容を確認の上、構成の企画を 立てる	講義	
第2回	作品の内容を確状況認の上、構成の計画を立てる。進捗確認。	講義·実習	
第3回	企画内容発表	講義·実習	
第4回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第5回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第6回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第7回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第8回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第9回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第10回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第11回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義・実習	
第12回	中間発表	講義·実習	
第13回	中間発表	講義•実習	
第14回	課題解決型授業I	遠隔授業 実施時期:1期	別紙提示
第15回	課題解決型授業Ⅱ	遠隔授業 実施時期:3期	別紙提示
第16回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第17回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第18回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	

		I	
第19回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第20回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第21回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第22回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第23回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第24回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第25回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第26回	作品の制作およびブラッシュアップ作業。進捗確認。	講義·実習	
第27回	最終発表	講義·実習	
第28回	最終発表	講義·実習	
第29回	課題解決型授業Ⅲ	遠隔授業 実施時期:5期	別紙提示
第30回	課題解決型授業Ⅳ	遠隔授業 実施時期:7期	別紙提示